克明の子

学校通信
令和８年(2026年) 11月 13日
発行）　校長　吉川有美子

家庭数

克明小の太鼓づくり



季節が進み、朝の気温が１０度を下回る日も見られるようになりました。まだ体が寒さになれておらず、服装選びの難しい時期です。どうぞご家庭でも体調管理にご留意ください。

学校では、日々の学習をはじめ校外学習やかがやき学習、作品展に向けた準備など２学期らしいさまざまな活動に取り組んでいます。

先日は、５年生が「世界で一つのマイ太鼓」製作に取り組みました。ご指導くださったのは、元克明小学校の図工専科教員の先生です。先生には長年にわたり、本校の太鼓づくりをご支援いただいています。

今年は、昨年度自分たちも太鼓づくりを経験した６年生が、５年生の製作をサポートする活動を行いました。その中で、太鼓づくりの手伝いだけでなく、製作後に図工室の掃除を自ら進んで行う６年生の姿も見られました。

先生は、自主的に掃除に来てくれた６年生にインタビューをされ、その子どもたちの言葉を書き留めてくださいました。子どもたちの話から、「世界で一つのマイ太鼓」が単なる図工の作品だけではなく、その意味を理解して製作していることが分かりました。また、太鼓をおうちに持って帰ったときのおうちでの様子の話から、おうちの方々も太鼓づくりの目的を理解してくださっていることもわかりました。先生は、インタビューの後、子どもたちに「卒業しても、克明小で太鼓をつくったことを周りにも言える気持ちでいてほしい、人として大切なことを学んだんだということを心の栄養として持ち続けてほしい。」と語られました。

「世界で一つのマイ太鼓」をずっと大切に持っていてほしいと思います。







全国学力・学習状況調査の結果について

【国語について】

本校の学習状況を見ると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、全国や大阪府の平均を上回る結果となりました。一方で、「読むこと」については、全国や大阪府の平均を少し下回る結果となりました。特によくできていたのは、「相手に分かりやすく伝えるために、理由や例を挙げながら話の組み立てを考える」問題でした。これは普段の学習の中で、「誰に、何を伝えるのか」を意識しながら、話したり書いたりする活動を大切にしてきた成果であると考えています。一方で、「読むこと」には課題が見られました。今後は、音読を引き続き大切にしながら、文章の中から必要な情報を読み取る力や、情報を整理して考える力、言葉と言葉のつながりを理解する力を育てていきます

【算数について】

算数では、「数と計算」「図形」「変化と関係」の分野で、全国や大阪府の平均を上回る結果となりました。計算の力や図形についての理解がしっかり身に付いていることが分かりました。特に、分数の大きさを数直線で考える問題や、少数の計算をする問題、直方体の形や面のつながりを考える問題で高い正答率が見られました。日頃の学習で積み重ねてきた基礎基本の力が定着していると考えられます。一方で、「測定」や「データの活用」の分野には課題が見られました。表や資料から必要な情報を読み取ったり、その情報をもとに理由を説明したりする問題で正答率が下がる傾向がありました。これは、問題文を正しく読み取り、条件を整理しながら考える力にかかわる内容と考えました。今後は、表やグラフなどの資料を読み取る学習や、自分の考えを理由とともに説明する学習を充実させながら、国語と同じように、子どもたちが情報を整理して考える力を伸ばせるよう指導してまいります。

【児童質問紙について】

「先生はよいところを認めてくれている」「人の役に立ちたい、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「自分の考えがうまく伝わるように文章や話の組み立てを考える」「課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組む」などの項目では、全国や大阪府を上回る結果となりました。こうした結果から、子どもたちが日ごろの学習や学校生活を通して、自分らしさを発揮しながら主体的に学ぶ力を育んでいることがうかがえます。特に、本校が取り組んでいる「かがやき学習」の成果の一つであると考えています。また、自分のことだけでなく、まわりの人のことも考えながら行動できることは、克明小学校区の子どもたちの大きなよさだと感じています。

全国学力・学習状況調査の結果は、子どもたちの力の一面を示すものです。調査結果を生かしながら、本校の取り組みを振り返り、今後の授業改善と指導に努めてまいります。